

平成26年度決算の概要

資金収支計算書…資金収支計算書は、その年度の教育研究活動などの諸活動に対応する収入と支出のほか、その年度内のすべての収入と支出の顛末を明らかにするものです。したがって、資金収入には授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

また、収入の部合計には、前受金のほか、未収入金および前年度からの繰越金を含めています。支出の部合計には、前払金や未払金および次年度への繰越金を含めており、収入の部合計と支出の部合計が合うこととなります。

(収入の部)

1. 学生生徒等納付金収入(4,424,533千円)

平成26年度（H26.5.1現在）の学生生徒等数は、4,398名（大学1,899名、短期大学894名、高等学校973名、中学校276名、小学校229名、幼稚園127名）でありました。前年度と比較すると59名の増加、金額においては40,991千円の増加となりました。各学校の学生生徒等数は以下のとおりです。

	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)	対前年度
H24	1,871	76	922	742	295	237	165	4,308	+ 70
H25	1,870	73	918	829	283	235	131	4,339	+ 31
H26	1,828	71	894	973	276	229	127	4,398	+ 59

2. 手数料収入(70,303千円)

入学検定料が大半であり、平成26年度の志願者数は以下のとおりでありました。学園全体としては、対前年度163名減少しました。（対前年度8,145千円の減少）

入試年度	大 学	大学院	短期大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	計(名)
H25	1,665	104	591	1,050	233	57	58	3,758
H26	2,010	114	667	1,277	208	55	47	4,378
H27	1,600	101	554	1,657	210	55	38	4,215

3. 寄付金収入(62,013千円)

一般寄付金として、大学教育後援会様より32,805千円、短期大学保護者会様より8,552千円、中高保護者会様より9,660千円、小学校保護者会様より2,126千円、幼稚園母の会様より2,244千円、匿名での寄付を30千円頂きました。

特別寄付金は、あおい会様より奨学金として2,406千円、短大保護者会様よりプラバー奨学金として3,860千円、匿名での寄付を330千円頂きました。

4. 補助金収入(1,287,953千円)

国庫補助金594,867千円、京都府補助金691,390千円、京都市補助金1,334千円、その他(城陽市、奈良県、兵庫県等)362千円の補助金収入があり、対前年度では185,098千円の増加となりました。中高新棟建築に係る補助金(180,152千円)の収入が国庫補助金にあったことが主な増加の要因です。

大学・短期大学の主要な補助金となる国庫補助金の私立大学等経常費補助は、365,331千円(対前年度25,511千円の増加)であり、高等学校から幼稚園までの主要な補助金となる地方公共団体補助金の京都府運営費補助金は515,508千円(対前年度639千円の増加)となりました。

5. 資産運用収入(75,671千円)

国債、地方債等の債権、銀行預金等の利息、配当金、および施設等を貸し出した際の利用率収入です。前年度と比較して7,412千円の増加となりました。

6. 資産売却収入(1,592,654千円)

国債300,000千円(満期償還)、円貨社債100,000千円、円貨建仕組債463,300千円他の売却収入です。

7. 事業収入(39,259千円)

京都文教大学心理臨床センターにおける相談料等収入8,503千円および公開講座収入255千円その他、幼稚園の預かり保育料1,054千円、産業メンタルヘルス実施講座収入が3,415千円、教員免許更新講習収入が17,407千円、京都府等からの受託事業収入が5,202千円等の収入で、対前年度5,379千円の増加となりました。

8. 雑収入(133,997千円)

退職金財団よりの退職者12名に対する交付金受入収入117,897千円、事務委託手数料、教育実習委託料等の雑収入が16,100千円です。

9. 借入金等収入(400,000千円)

中高の新棟新築工事費用への借入として、三井住友銀行より400,000千円の融資(返済5年、利率0.45)を受けました。

10. 前受金収入(886,676千円)

平成27年度入学者の授業料等であり、平成26年度に入金となった金額で、貸借対照表の負債勘定科目に計上されます。

11. その他の収入(532,752千円)

前年度末における未収入金の収入分276,833千円(退職金財団未収入金140,050千円、補助金未収入金134,832千円他)、預り金収入251,690千円(源泉税、地方税等の預り分28,686千円、修学旅行費等預り分1,036千円、あおい会からの預り分154,859千円他)等です。

12. 資金収入調整勘定(△1,285,515千円)

資金収支計算書は、資金の顛末を表すものであり、収入科目の中には翌年度に収入となる未収入金と、前年度に収入となっている学納金の前受金が含まれています。よって、当年度の実際の資金の残高を表すためには、この調整勘定科目が必要になります。

具体的に、収入科目の内、1頁の1. 学生生徒等納付金収入の中には、前年度に入金されている前期末前受金と、当年度まだ入金されていない補助金収入、退職金財団からの受入収入等の期末未収入金が含まれているので、これらを除外するためのものです。

13. 前年度繰越支払資金(3,246,239千円)

前年度より繰越されている資金で、前年度の貸借対照表上の現金預金額です。

14. 収入の部合計(11,466,534千円)

1～12迄の合計額で、資金収入の総額であり、支出の部合計額と同金額になります。

(支出の部)

1. 人件費支出(4,012,526千円)

教員人件費2,695,836千円(対前年度43,316千円増加)、職員人件費1,138,857千円(対前年度44,543千円増加)、役員報酬28,911千円(対前年度増減なし)、退職金148,923千円(対前年度42,389千円減少)です。

人件費支出全体では、対前年度45,469千円の増加となりました。

教職員数で比較すると、全体が361名で7名の増加(教員数は221名で前年度比1名の増加、職員数は140名で前年比6名の増加)です。

2. 教育研究経費支出(1,181,175千円)

対前年度45,482千円の増加です。

(以下、今年度新たに発生した主な経費)

①岡崎学舎 正道館地階改修関連経費	12,933千円
②岡崎学舎 老朽化ガス配管取替	3,499千円
③宇治学舎 北給水施設活性炭吸収塔濾過材入替	3,677千円
④宇治学舎 西体育館電動カーテン修繕	2,484千円
⑤宇治学舎 同唱館空調設備冷却塔充填剤取替	2,262千円 他

また、京都府あんしん支援減免制度による奨学費が156,646千円が中・高に計上されています。ただしこれは授業料収入、教育充実費収入と相殺されます。(対前年度39,801千円増加)

3. 管理経費支出(382,119千円)

対前年度24,766千円の増加です。

大学ジャーナル等への広報費114,990千円、大学入試アウトソーシング運用構築費14,580千円・幼稚園バス管理費12,701千円等の支払報酬109,884千円が主な支出内容です。また、学園創立110周年関連経費(広報・祝賀会・中高コンサート、幼稚園50周年関連イベント他)の支出がありました。

4. 借入金等利息支出(39,592千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への支払利息分です。

中高の新棟新築工事費用への借入として、三井住友銀行より400,000千円の融資(返済5年、利率0.45)を受けました。その当年度利息(875千円)が増加しました。全体で返済の利息額は年々減少しますので、前年度比2,643千円の減少です。

5. 借入金等返済支出(258,120千円)

日本私立学校振興・共済事業団並びに市中金融機関への借入金返済額です。

中高の新棟新築工事費用への借入として、三井住友銀行より400,000千円の融資(返済5年、利率0.45)を受けました。その当年度元本返済分(20,000千円)が増加しました。

6. 施設関係支出(549,311千円)

建物支出 164,932千円

(以下、主な内訳)

岡崎学舎 正道館地階改修工事	135,380千円
岡崎学舎 第二体育館漏水対応シール打替工事	4,838千円
岡崎学舎 柔道場壁防護マット及び畳設置工事	3,440千円
宇治学舎 守衛室非常放送設備更新工事	9,610千円
宇治学舎 同唱館アプローチ土間タイル補修工事	5,940千円
宇治学舎 光暁館指月ホール扉交換改修工事	3,186千円
その他	2,538千円

建設仮勘定 383,492千円

岡崎学舎 新棟支払分 383,492千円

7. 設備関係支出(113,281千円)

教育研究用機器備品支出 74,322千円

(以下、主な内訳)

岡崎学舎 中・高正道館地下改修関連家具・備品	49,258千円
岡崎学舎 食堂厨房オープン・変圧器	2,484千円
岡崎学舎 小学校児童机・椅子(160セット)	2,688千円
岡崎学舎 サーバ機器関係一式	1,474千円
宇治学舎 4号館ピアノ入替(20台)	14,100千円
宇治学舎 月照館体育館電子黒板付ディスプレイ	1,242千円
宇治学舎 webカメラ設置工事	1,192千円 他

その他の機器備品支出 5,454千円

図書支出 33,506千円

8. 資産運用支出(1,110,332千円)

有価証券購入支出 994,332千円

(以下、内訳)

国債298,650千円、地方債400,000千円、政府保証債97,633千円、財投機関債100,000千円、社債98,049千円を購入しました。

退職給与引当金特定資産への繰入支出 100,000千円

厚生資金出資金への繰入支出 16,000千円

9. その他の支出(341,371千円)

前年度未払金の支払分66,958千円、預り金支払支出分272,146千円他です。

10. 資金支出調整勘定(△66,332千円)

前述のとおり、資金収支計算書には当年度の資金の顛末をすべて表す必要があるため、支出科目の中には、実際は次年度以降の支出になるもの(当年度の未払金)が含まれます。そのため、純粋な当年度の資金支出を表すためにはこれを差し引く必要があります。具体的には、私大退職金財団掛金20,500千円、私学共済掛金26,768千円、消費税支出分1,152千円、労働保険料7,208千円、入試問題印刷費4,764千円、入試アウトソーシングサービス運用構築費(一部)5,940千円があります。

11. 次年度繰越支払資金(3,545,040千円)

次年度へ繰越す資金で、年度末において貸借対照表上の現金預金科目となっています。

12. 支出の部合計(11,466,534千円)

収入の部合計と同金額です。